

令和3年度施設関係者評価実施報告書

社会福祉法人宝山寺福祉事業団
極楽坊あすかこども園

実施日:令和4年3月28日(月)

場所:極楽坊あすかこども園会議室

施設関係者評価委員:極楽坊あすかこども園愛護会会長・こども支援センター仔鹿園 主任

施設側参加者:極楽坊あすかこども園 園長・副園長 書記:極楽坊あすかこども園 事務

1. 園の教育・保育目標

やさしい心と健やかな身体を育てる

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

- ・信仰心を培うとともに、優しく思いやり深い心を育み、友だちとの関わりを大切にする。
- ・環境に配慮し、養護と教育を一体とする集団活動の場で、共通のテーマに基づく活動と子ども一人一人の自主的、主体的な活動を支えるとともに様々な経験を重ねることにより、自立への導きをする。
- ・基本的な生活習慣を身につけ、さらに素足保育や薄着保育を通して健康な身体を育てる。
- ・異年齢児、障害児、高齢者との交流体験を通して親しみを持ち積極的に関わり思いやりの心を育てる。
- ・自然や社会の事象について興味や関心を持ち、豊かな感性を育てる。
- ・言葉の大切さを知り、考えや思いを自分の言葉で表現し、相手の話も理解できるように言葉の豊かさを培う。

3. 評価項目の評価及び委員の意見

評価項目	施設の評価	委員の意見
保育・教育目標について	各年齢の発達段階をふまえ、目標設定を行っている。 自己評価や関係者の意見をふまえて、目標を見直し、子どもの最善	副園長 今年度、こども園に移行し、1号認定の受入れを開

	<p>の利益を図り、地域の中で必要とされる保育教育をさらに推進していきたい。</p>	<p>始した。移行初年度で手探りの面もあったが、次年度は今年度の反省をふまえて、計画・目標を再度設定する。</p>
<p>保育・教育について</p>	<p>教育・保育要領について確認をしながら、指導計画の作成を行い、養護と教育の一体的な展開が出来るよう環境を整え、保育を行っている。</p> <p>今後も子どもの姿に合わせ、適宜見直しを行い、実施後の評価、課題を分析し、次の計画へ反映させていきたい。</p>	<p>仔鹿園 仔鹿園とは規模が異なり、人数も多いため、内容に違いが出る。</p> <p>愛護会 こども園への移行により、教育・保育の内容に変更はあるか。</p> <p>園長 1号認定の教育時間、長期休業との関係で保育園の内容から変更した。</p>
<p>食育</p>	<p>年度初めに食育計画を見直し、それに基づいて食育を行うことが出来たが、一部行事等の急な変更でできなかったクラスもあった。内容や頻度を見直し、無理なく進められるようにしたい。コロナウィルス感染予防から、食事環境を変えざるを得なかった。</p> <p>給食会議等を通して、保育・給食の連携を深めていきたい。</p>	<p>園長から内容を説明。委員から特段の意見無し。</p>
<p>行事</p>	<p>コロナ禍で計画通りに行事を進めることは出来なかったが、方法を工夫しながら子ども達が様々な経験が出来るよう取り組めた。</p> <p>保護者が関係する行事についても手紙や配信で理解が得られるよう努めた。</p> <p>1号認定の人数変更もあるため、行事の持ち方(進め方)について考慮していく必要がある。</p>	<p>愛護会 コロナ禍において、卒園式の実施に感謝する。</p> <p>参加者を保護者1名に限定したことについて、園の状況を含めて、丁寧な説明があればよかった。(コドモン一斉配信・文書配布)</p> <p>行事の中止や規模縮小についても同様に、理由説明が少し不足していると感じた。</p>
<p>経営・組織</p>		

● 分掌・体制	取組内容に応じてプロジェクトや行事の係、施設内研修の担当を編成し、業務分掌を行っている。	園長から内容を説明。委員から特段の意見無し。
● 運営	限られた時間の中で、計画的に会議を進めている。ICTを活用するなどして、さらに効率的かつ活発な会議運営を図っていきたい。	園長から内容を説明。委員から特段の意見無し。
● 年齢別・クラス運営	年齢ごとに、発達の段階を踏まえて年間計画、月案、週案等の計画を策定している。	園長から内容を説明。委員から特段の意見無し。
● 保健・安全指導	異年齢児間交流は計画していたが、新型コロナの影響があり予定通りに実施できないことが多かった。 保育に関する計画・記録については、ICTシステムを活用しながら記録の管理を行っている。	園長から内容を説明。委員から特段の意見無し。
情報	職員からは、誓約書を徴し、ICT の取り扱いについて研修を実施している。	園長から内容を説明。委員から特段の意見無し。
施設・設備	園庭の遊具は毎年度業者に点検を依頼し実施している。室内の玩具は、使用後には消毒し、滅菌庫に入れるなど衛生面にも配慮している。 不審者対応の訓練を実施しているが、様々なケースを想定し、さらなる備品の整備や訓練が必要である。	愛護会 不審者訓練について、事前に保護者への告知、事後の報告があればよかった。 園長 不審者役は部屋に入らず、子どもの精神面への影響が少なくなるように配慮した。 愛護会 新園舎では新しいセキュリティ対策がとられると期待している。
開かれたこども園づくり		
● 施設間交流・連携	新型コロナのため、他施設の児童や高齢者との交流は全く行えなかった。地域の方に園に来ていただき、おはなしの会やポン菓子機	仔鹿園 コロナ禍で当園との交流が中止になったことを非常

	<p>会を設けることができた。</p> <p>校区の飛鳥小学校とは、園児の作品を小学校の作品展で展示する機会を設けていただき、見学を行った。また、進級先の小学校とは連絡会を行い情報共有を行っている。</p>	<p>に残念に思う。早い時期に再開できればありがたい。こども園への移行に伴い、施設間交流に変化はあるか。</p> <p>園長 特に変更はない。</p>
● 家庭・地域社会との連携	<p>新型コロナの影響もあり、地域の施設への訪問や行事への参加は十分に行えなかった。</p> <p>地域の方による「お話し会」を園で行った。また、高齢者のボランティアにより裁縫等のお手伝いをいただいている。</p>	<p>園長から内容を説明。委員から特段の意見無し。</p>
● 子育て支援の推進	<p>子育て支援は、月 1～2 回実施し、園庭開放や工作などのプログラムを実施した。外部の専門家や機関から保護者向けの講座を行うなど、子育て家庭のニーズに応えられるようなプログラムをさらに充実させていきたい。</p>	<p>愛護会 発達、特にグレーゾーンについて、相談できる窓口・場所を提供してもらえるとありがたい。</p> <p>副園長 保護者は担任以外の専門家に相談する方が話しやすい。また、職員も専門的な視点での意見が欲しいと感じている。</p> <p>園長 発達相談について、保護者のニーズを踏まえて、仔鹿園との協力を検討する。</p>
● 情報の発信	<p>子育て支援の取り組みは、ホームページに写真と共に掲載している。案内ポスター、チラシを作成し市役所や公民館に配布している。</p>	<p>園長から内容を説明。委員から特段の意見無し。</p>
● 外部評価	<p>県の施設認証制度による認証を受けており、一定の評価は受けてい</p>	<p>園長から内容を説明。委員から特段の意見無し。</p>

	るが、第三者評価は未実施である。今年度より施設関係者評価を実施し、関係者や外部の方々の意見を反映していく予定である。	
--	--	--

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

幼保連携型認定こども園となり、1号認定子どもの受け入れが始まり、保育の提供体制やデイリープログラムに変更があったが、保育園部・幼稚園部の隔てなく教育・保育を実施することができた。
コロナ禍でも実現可能な取り組みを進め、各種行事を実施したことは評価できる。来年度以降も影響が続くなら、コロナ禍での目標、計画設定について再度検討する必要がある。

5. 今後取り組むべき課題

- ・行事や園での生活について、保護者への情報発信を充実させる。
※休園期間の保育教諭の手遊び動画配信の評価も高く、保護者の動画配信へのハードルは低くなっている。
- ・愛護会との連携を密にし、各種行事の内容等を決める。
- ・